

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Career Design		1	0004-01	2期(後学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	修学する専門領域を理解し、学習目標の設定と達成のための計画を設計し、自己実現に向かって積極的に行動する態度を身につけることができる。入学後の修学・生活を自省し、以後の修学意欲を高め、キャリアデザインを形成することができる。学習や生活に取り組む態度と方法の重要性を「キャリアポートフォリオ」「修学ポートフォリオ」「達成度自己評価ポートフォリオ」の作成や自己管理と共同の実践を通して認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動を継続することができる。							
2	キャリアデザイン								
3	日本語表現力								
4	1年間の評価と目標設定								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、学期末に「後学期の達成度自己評価」「1年間の達成度自己評価」を作成して、KITポートフォリオ(web上)に入力することにより、自己管理を身につける。</p> <p>2. 自己開発センター特別講義により、自己のキャリアデザインに即した自学自習のあり方を考える。</p> <p>3. 専門課程での履修条件や進級条件を再度確認し、自己のキャリアデザインに沿って4年間の履修計画を作成する。</p> <p>4. 修学アドバイザー独自の多様な自由講義・演習を実施する。</p> <p>5. 個人面談において、1年間の生活・修学を振り返り、2年次への準備を行う。</p> <p>科目のホームページを必ずみること。<a href="http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/">http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/</a> 出席・提出物の締切を守ることにについては、特に厳しく評価する。</p>									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書：修学基礎2010[金沢工業大学]									
参考書：指定なし									
リザーブブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実施する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身につける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
A,B		1週間の行動履歴を作成し、更に今年度の達成度評価と次年度以降の展望を口頭および文章で報告することができる。							
A,B		講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
A		専攻選択やキャリアデザインを具体的に考え、それに沿って4年間の履修計画を作成することができる。							
A		グループ討議を通して問題点を抽出し、自己の見解を口頭および文章で表現することができる。							
A,B		時間を守る、提出物の締切を守る、ルールやマナーを守る、グループ活動で協力する態度を実践することができる。							
A		本科目の教育目標を理解し、本教育目的・目標を実践することができる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポ-ト	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポ-トフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	39	13	0	32	16	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	9	0	0	0	0	9
	思考・推論・創造する力	0	0	15	0	0	0	0	15
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	5	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	15	8	0	0	0	23
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	0	0	0	32	16	48

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

## 評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題 聴講ノート(7)：自己開発センター講話(10点)
	レ	課題 自分が学びたい専門テーマと資格取得・課外活動(10点)
	レ	課題 小論文C「関心のある専門領域と将来の進路選択」(10点)
		課題 4年間の履修計画(9点)
	レ	
成果発表 (口頭・実技)		課題 グループ討議メモ用紙(4)(5点)
		課題 プレゼンテーションの成果(3)(8点)
	レ	
	レ	
作品		
ポートフォリオ	レ	「1週間の行動履歴」 2点×8 教室での授業ごとに提出
		課題 1年間の達成度自己評価(回顧と展望)(8点)
		課題 後学期の達成度自己評価(8点)
	レ	
	レ	
その他	レ	出席(出席2点×8、10分までの遅刻は1点、それ以上の遅刻は出席回数を認めるが0点とする。)
	レ	多目的ホールでの授業の遅刻者・欠席者は後日ビデオ視聴
	レ	
	レ	
	レ	

## 具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を記録し、自省することによって、次週への目標を明確にする。 グループ活動において、積極的に発言し、グループの意見をまとめることができる。 自己の専門選択やキャリアデザインを明確に認識し、学習活動につなげることができる。 授業には欠かさず出席し、提出物の期限を守るなど、学習に対する積極的な態度が身についている。 本科目における「学生が達成すべき行動目標」の達成度を自己評価し、明確に記すことができる。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。 他者の意見を聞いてまとめることができる。 自己の専門選択やキャリアデザインを認識している。 授業に出席し、提出物の期限を守るなどの学習態度が身についている。 本科目における学生が達成すべき行動目標を自己評価し、記すことができる。</p>

## 授業明細表

## CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行動ください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1・2 /	自己開発センター講話(堀岡雅清 教授) 講話「資格取得の勧め」を聴講し、自らのキャリアデザインに沿って、資格取得を含めた課外学習について考える。	講話を聴講しメモを取る。 メモに基づいて自分の考えを聴講ノートにまとめる。遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する。  【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 聴講ノート(7)：自己開発センター講話 時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 自分が学びたい専門テーマと資格取得・課外活動 自らが学びたい専門テーマについて文献検索し、その文献の内容をまとめ、課外活動や資格などと関連づけた見解を論述する。	30 120
3・4 /	修学アドバイザーによる自由講義・演習  【持参物】 修学アドバイザーが指示するもの	指定教室での講義・演習  【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 小論文C「関心のある専門領域と将来の進路選択」 2部提出する。	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。	30
5・6 /	専門課程と2年次以降に履修する科目 自らの専門課程を考慮して、2年次以降の履修計画を立案し「課題 4年間の履修計画」を作成する。  【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック	指定教室での講義・演習  【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 自分が学びたい専門テーマと資格取得・課外活動 ・課題 4年間の履修計画 時間内に作成することができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。	30
7・8 /	1年間の反省と今後の展望についてのグループ討議 1年間の修学生生活を振り返り、自らの反省と改善、将来へのキャリアデザインなどを総合的に反省する。さらに2年次以降の修学生生活をより充実したものにするために、その反省を基に班のメンバー間で討議し、他者の意見を聴くことによって自らの具体的な修学生生活を自覚する。  【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、グループ討議メモ用紙	指定教室での講義・演習  【提出物】 ・1週間の行動履歴	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 グループ討議メモ用紙(4)	30 60
9・10 /	1年間の反省と今後の展望についてのグループ発表 前回のグループ討議をまとめたものを発表し、クラス内で議論する。なお、発表は「課題 プレゼンテーションの成果(3)」として採点対象となる。  【持参物】 修学基礎2010・キャンパスノート・カリキュラムガイドブック、ノートパソコン(発表のため)	指定教室での講義・演習  【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 グループ討議メモ用紙(4)	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 1年間の達成度自己評価(回顧と展望) ・課題 後学期の達成度自己評価 課題 は修学アドバイザーが指定する日時・場所に提出する。	30 30 30
11・12 /	個人面談 「1年間の自己の評価と今後の展望」を口頭で報告し、修学アドバイザーからのアドバイスをもらう。	面談  【提出物】 ・1週間の行動履歴 日時・場所・その他の提出物などは修学アドバイザーの指示に従う。	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・修学基礎HPで、授業アンケートに回答する。	30 30
13・14 /	個人面談 「1年間の自己の評価と今後の展望」を口頭で報告し、修学アドバイザーからのアドバイスをもらう。	面談  【提出物】 ・1週間の行動履歴 日時・場所・その他の提	【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・修学基礎HPで、授業アンケートに回答する。	30 30

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
		出物などは修学アドバイザーの指示に従う。		
15・16 /	自己点検授業	自己点検授業 出席と課題提出の状況を確認し自らの成果を確認・反省する。  <b>【提出物】</b> ・1週間の行動履歴	<b>【課題】</b> ・1週間の行動履歴を作成する。	30